

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

横浜国立大学先端科学高等研究院公開セミナー 「2015年4月25日ネパールゴルカ地震の被害と影響」

- 横浜国立大学（長谷部勇一学長）の先端科学高等研究院は、本年4月に起きたネパールゴルカ地震（M7.8）発生後、現地へ赴き、ネパールの首都カトマンズの社会インフラストラクチャの現状を調査しました。
- 1923年の関東大震災（M7.9）と同程度の大きさのこの地震を調査した結果、東京・神奈川を含めた首都圏の地震防災・減災と首都圏の震災復興に示唆を与えるものであることがわかってきました。
- 先端科学高等研究院公開セミナーを開催し、本調査の意義を広く社会へ伝えます。

【横浜国立大学先端科学高等研究院公開セミナー「2015年4月25日ネパールゴルカ地震の被害と影響」】

本年4月25日にネパールゴルカ地震（M7.8）が発生しました。そのマグニチュードは1923年の関東地震（M7.9）にほぼ匹敵し、また震源から首都カトマンズまでの距離は、関東地震の震源から東京、横浜までの距離とも重なります。このような観点からこの地震は、同じくフォッサマグナ南縁にあって政令指定都市を全国最多の3つも抱える神奈川県や首都東京にとっても決して対岸の火事ではありません。現地調査に関わった専門家から、その被害の実態を伺い、私どもとネパールに共通する今後の課題を議論します。

【横浜国立大学先端科学高等研究院セミナーの開催の概要】

日時：2015年6月22日（月） 13:00～14:30
会場：横浜国立大学 大学会館4階ホール
参加費：無料
申し込み：事前申し込み不要

〈プログラム〉

司会進行：横浜国立大学 上席特別教授 藤野陽三

1. 「地震と引き続く雨季の問題」
横浜国立大学教授、土木学会・地盤工学会・日本地震工学会調査団団長 小長井 一男
2. 「犠牲者を増やしたもの」
東京大学生産技術研究所講師、土木学会先遣団団員 沼田 宗純
3. 質疑応答

参考資料をご確認のうえ、ご取材等よろしくお願ひ申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学先端科学高等研究院 上席特別教授 藤野陽三
横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5
TEL：045-339-4468 / FAX：045-339-4286
E-mail：fujino@ynu.ac.jp 又は ias-infra@ynu.ac.jp

「2015年4月25日ネパール ゴルカ地震の被害と影響」

本年4月25日に発生したネパールゴルカ地震(M7.8)はネパールで発生した地震としては1934年ビハール地震(M8.1)に次ぐ規模で、その直接的な被害の甚大さは言うに及ばず、今後雨季を迎えて顕在化してくる課題も深刻になると予想されます。プレート境界の山岳地直下で起こったこの地震は、同じくフォッサマグナ南縁にあつて関東地震の震源ともなり、更に政令指定都市を全国最多の3つも抱える神奈川県にとって決して対岸の火事ではありません。現地調査に関わった専門家から、その被害の実態を伺い、私どもとネパールに共通する今後の課題を議論します。



平成27年6月22日(月)

13:00-14:30

場所:横浜国立大学
大学会館4階ホール

13:00-13:40 地震と引き続く雨季の問題

小長井 一男

横浜国立大学教授、土木学会・地盤工学会・日本地震工学会調査団団長

13:40-14:20 犠牲者を増やしたもの

沼田 宗純

東京大学生産技術研究所講師、土木学会先遣団団員

14:20-14:30 質疑等

【申し込み方法】参加費無料・自由参加

【お問い合わせ】〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

国立大学法人横浜国立大学先端科学高等研究院 上席特別教授 藤野 陽三

藤野陽三: fujino@ynu.ac.jp 又は ias-infra@ynu.ac.jp 電話:045-339-4468 FAX:045-339-4286

横浜国立大学 先端科学高等研究院

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

先端科学高等研究院棟(建物番号S7-4) 102室、103室(オフィス)

Phone: (045) 339-4454 Fax: (045) 339-4456 E-mail: ias@ynu.ac.jp

Web: <http://ias.ynu.ac.jp/index.html> Facebook: www.facebook.com/ias.ynu

